



留学の現状



海外渡航はできますか？

「本学では、学生の海外渡航が可能とされる地域は、外務省が発出する「感染症危険情報レベル」が1以下であることが必要であるとの指針が定められおり、コロナウイルスの世界的流行により、このレベルが全世界的に2以上に引き上げられてからは、海外渡航の中止勧告を行っていました。

2022年5月25日に米国・カナダ・英国など37か国がレベル1に引き下げられ、さらに7月1日にはドイツ、フランスなど34か国がレベル1となりました。レベルが1以下の国・地域においては、海外渡航が可能です（TRIPへの入力等の手続きは必ず行ってください）。また、留学の場合は、各所属支援室へ留学願いの申請が必要です。

レベル2以上の国・地域においては、引き続き特別措置申請による海外渡航の許可を得ることが必要です。協定校留学とそれ以外で提出書類等が異なりますので、所属支援室へご相談ください。

詳細はこちらから確認してください⇒



短期の語学研修などはいつ復活しますか？

渡航を伴う短期プログラムの実施には、「感染症危険情報レベル」が1以下となることに加え、政府による入国人数の制限や、入国後の待機指示・行動制限が緩和される必要がありますので、再開には時間がかかる見込みです。（実施に向けた募集を行うことはありますので、随時、更新情報を確認してください。）
なお、オンラインでの語学研修や交流プログラムを実施していますので、是非ご参加ください。



留学準備って何をすればいいの？



現状を理解いただいたところで、将来の留学について、今から何を準備すべきかを考えてみましょう。留学準備には4つの柱があります。

1 目的と協定校選び

- 留学の目的を明確にして、留学方法や希望協定校を絞ろう！

なぜ留学をしたいのか？留学で何をしたいのか？目的をはっきりさせることで、どこに、どんな留学をすればよいのかを明確にしましょう。



留学プランナーを活用して考えよう！

2 履修計画

- 筑波大学での履修計画を確認して、いつ留学に行くのかを決めよう！

履修計画表を記入してみると、いつ留学へ行けばよいのかが見えてきます。履修のみでなく、就活も大切なポイントになります。



留学のための履修計画表

3 語学要件

- 語学要件チェック！
早めに受験して、クリアしよう！

協定校によっては、受入れに必要な語学要件が設定されていることがあります。各協定校のウェブサイトを確認して、要件を満たした公的証明書を準備しましょう！

4 資金計画

- 資金の準備は計画的に。
奨学金の応募は機会を逃さないこと！

留学先でも、日本と同様の生活費が必要になります。資金確保はもちろんですが、現地のレートや支払い方法（クレジットカード作成など）についても確認が必要です！



奨学金